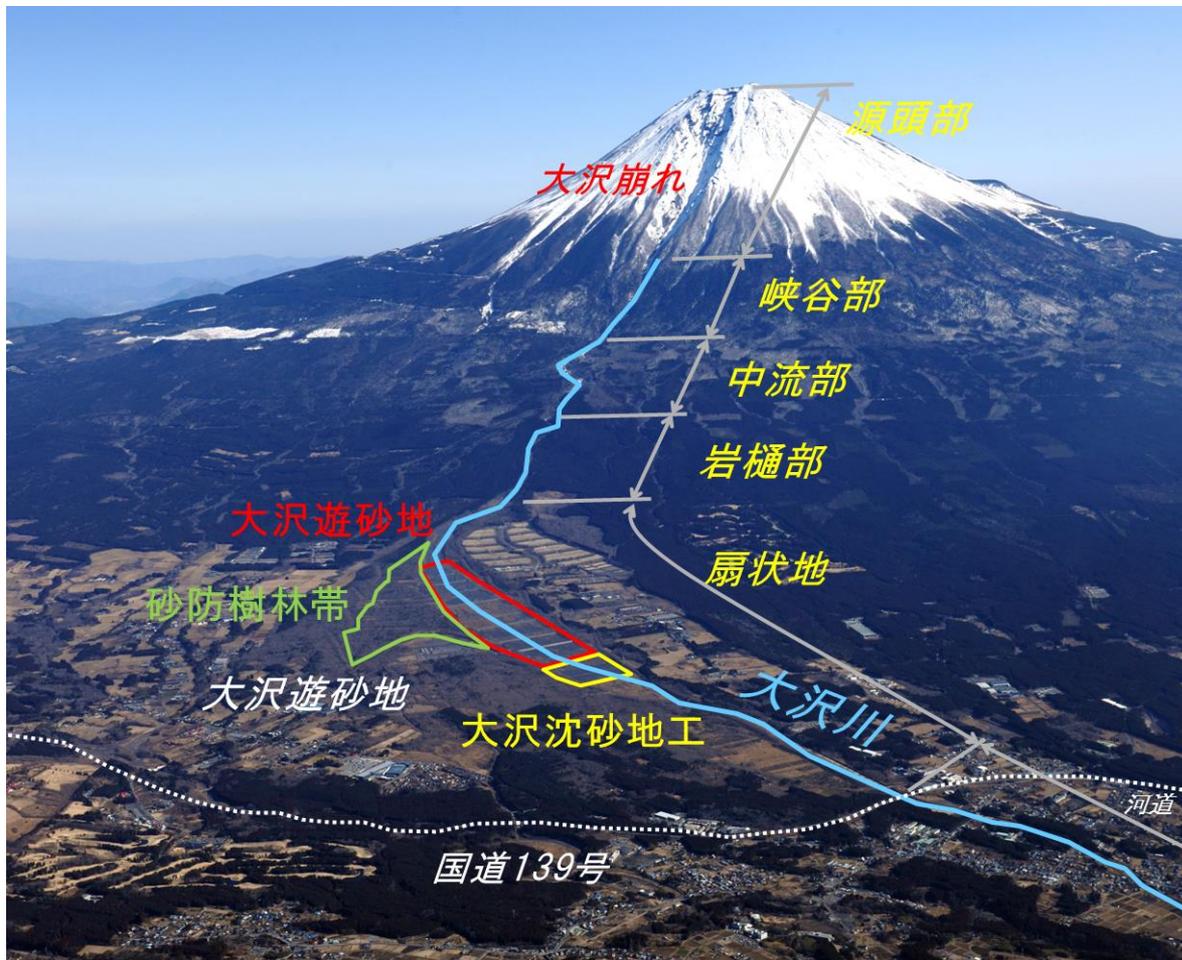


砂防事業と連携した養浜(富士山の大沢崩れ)

○富士山の大沢崩れにより発生した土砂を破碎・ふるい分けした後、富士海岸(吉原工区)へ運搬、養浜を行った。大沢扇状地の堆積土砂を利用した養浜は、平成12年から実施しており、年平均(H12~H28)で約3万m³の養浜を実施している。



大沢崩れによる発生土砂の堆積状況

破碎・ふるい分け及び養浜の実施

港湾事業と連携した養浜(田子の浦港・富士海岸)

○田子の浦港では、増大する貨物需要や船舶の大型化に対応した機能確保、および東海地震等の大規模地震時の緊急物資輸送へ対応するため整備を進めている。
 上記の整備に伴い航路泊地で発生する土砂を有効活用するため、年平均（H21～H28）で約9万m³の土砂を富士海岸の養浜材として活用している。

